

柏市水道事業ビジョン・ 柏市下水道事業中長期経営計画 既存計画の評価と課題

資料目次

1. 既存計画の評価と課題（本資料の説明）
2. 既存計画の概要（再掲）
3. 既存計画における主要施策の実施状況
4. 課題の整理
5. 今後の検討の進め方
6. 今後のスケジュール

1. 既存計画の 評価と課題 (本資料の説明)

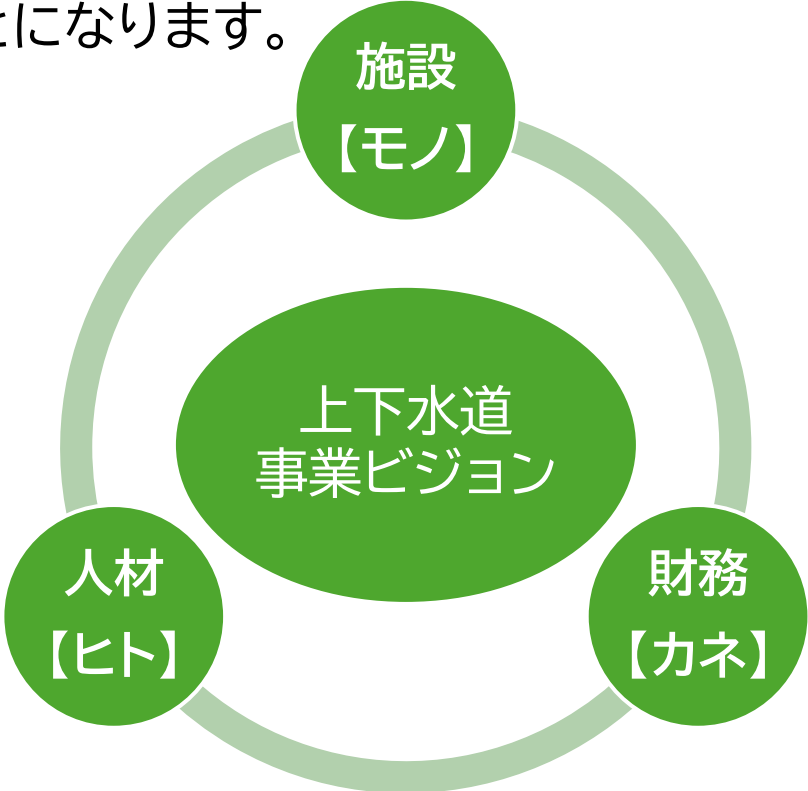
柏市水道事業ビジョン及び柏市下水道事業中長期経営計画策定の目的

令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間として、上下水道事業に関する経営理念及び中長期の基本的方向性を示すとともに、事業を取り巻く環境の変化やさまざまな課題への対応方針を示し、今後の上下水道事業の将来像を描くことを目的とします。

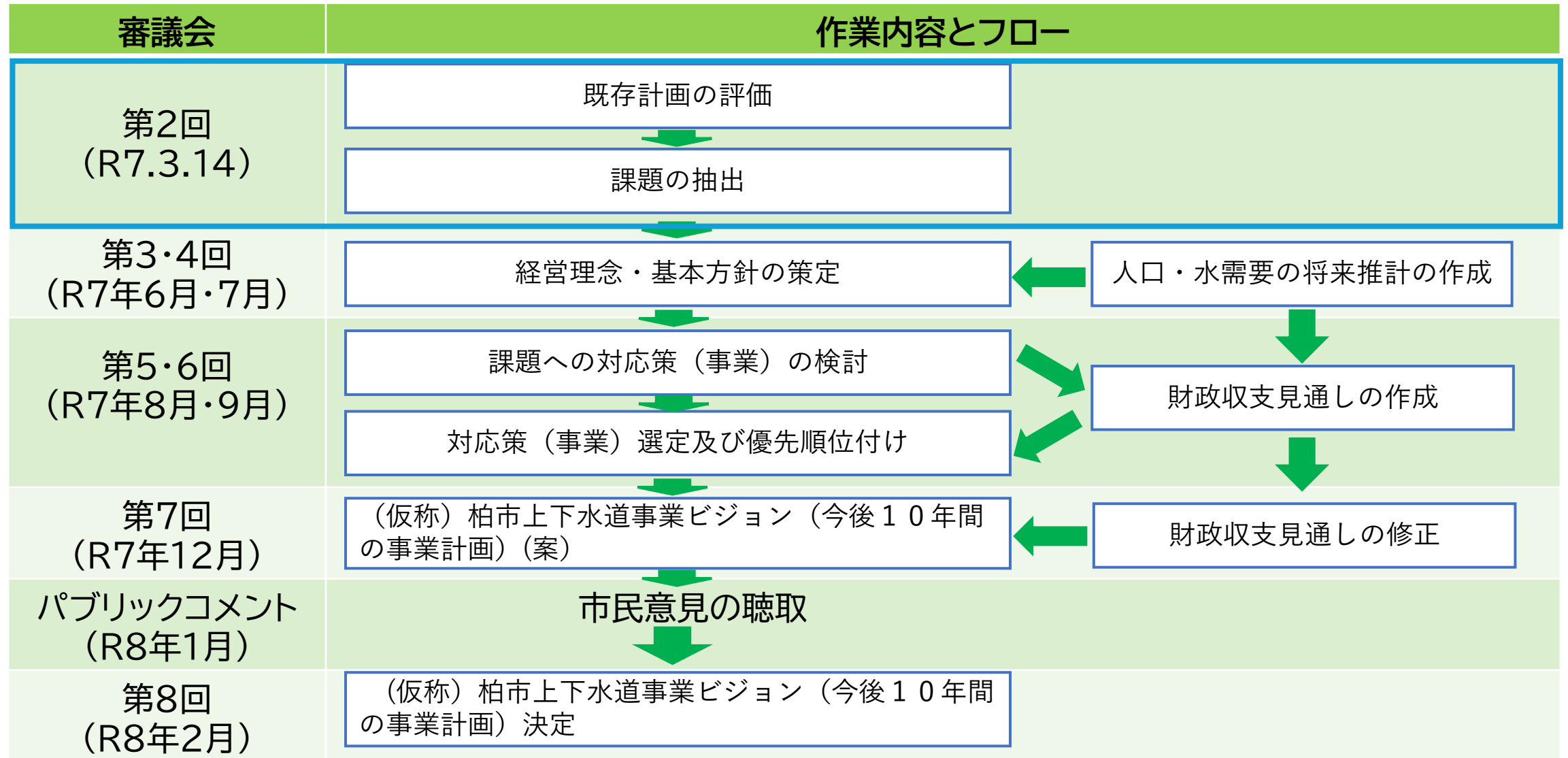
具体的には、この計画により、今後10年間における柏市上下水道事業における、ヒト(人材)、モノ(施設)、カネ(財務)のあり方を決めていくことになります。

- 例)ヒト(人材):人員の確保、技術継承
モノ(施設):耐震化対策、老朽設備更新
カネ(財務):財源の確保等

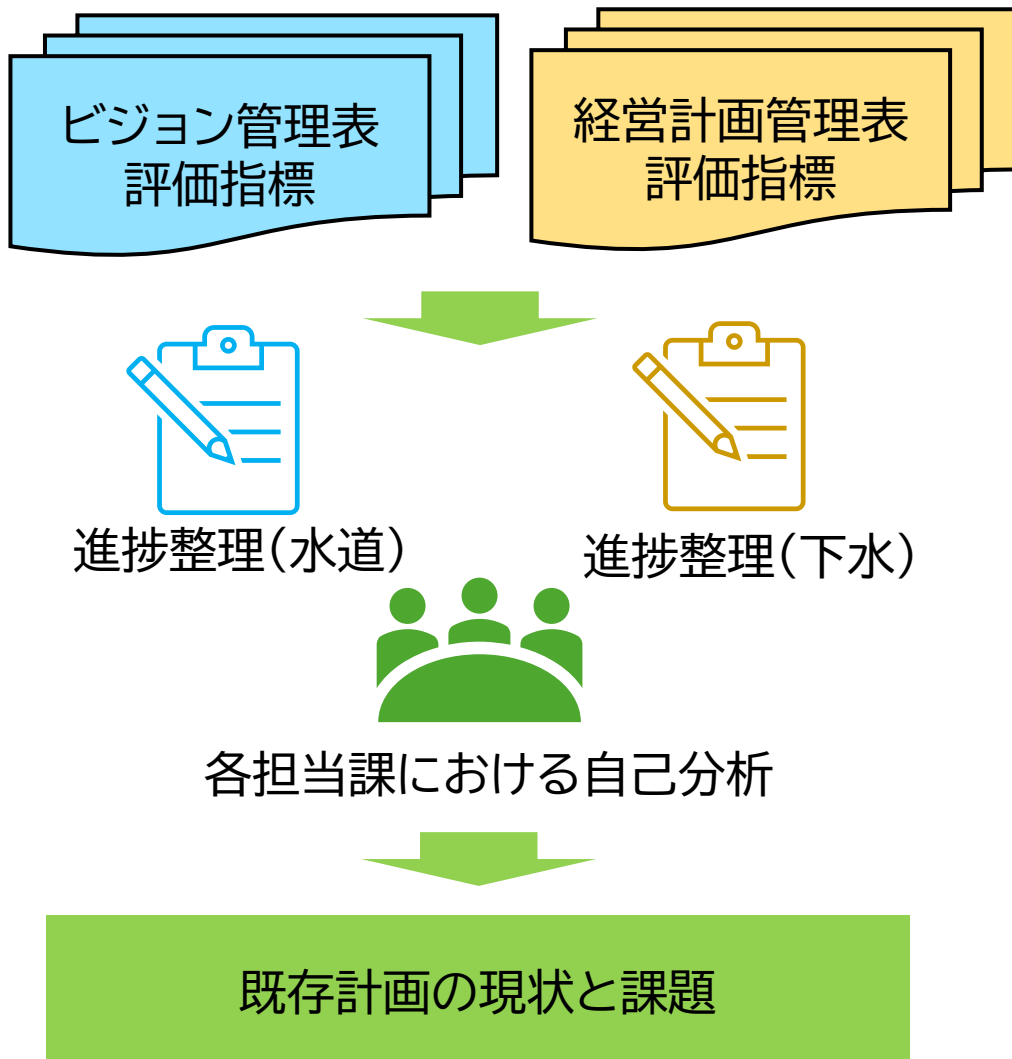
	既存計画	次期計画
計画期間	H27年度～R7年度	R8年度～R17年度
上水道	柏市水道事業ビジョン	(仮称)柏市上下水道事業ビジョン ※上下一本化し改訂
下水道	柏市下水道事業中長期経営計画	



(仮称)柏市上下水道事業ビジョンの改定に関する審議会の審議予定及び作業フロー



現状と課題の評価方法について



【評価方法】

- ✓ 管理表から進捗状況を整理
- ✓ 評価指標から指標値の推移を整理
- ✓ 指標と実施状況について評価
- ✓ 5段階評価で評価
 - ◎ : 目標を上回る
 - : 目標どおり
 - △⁺ : 目標にもう一步
 - △⁻ : 目標に届いていない
 - × : 目標に大きく届いていない
 - : 未実施等

2. 既存計画の 概要（再掲）

【上下水道】既存計画の位置付け

〔柏市〕

マスター
プラン

柏市第五次総合計画
(H28～R7)

地域
防災

柏市地域防災計画

業務継続

柏市業務継続計画

環境

柏市第3期
地球温暖化対策計画

〔柏市上下水道事業〕

水道基本計画

柏市水道事業ビジョン

施策推進期間：H28年度～R7年度

前期計画：H28～R2年度

後期計画：R3～R7年度

将来見通し期間：R8年度～R17年度

下水道基本計画

柏市下水道事業
中長期経営計画

施策推進期間：H28年度～R7年度

前期計画：H28～R2年度

後期計画：R3～R7年度

将来見通し期間：R8年度～R17年度

〔国、千葉県〕

国

新水道ビジョン
(H25.3策定)

千葉県

千葉県水道広域化
推進プラン

国

新下水道ビジョン
(H26.7策定)

千葉県

千葉県流域下水道
事業経営戦略

千葉県

手賀沼に係る湖沼水
質保全計画(第7期)

【上下水道】既存計画の理念

水道 柏市水道事業ビジョン

基本理念

生命(いのち)の水を未来につなぐ
柏の水道

基本目標

基本目標1：確実な給水の確保「強靱」
～災害に負けない、たくましい水道～

基本目標2：安全な水道の確保「安全」
～いつでも安全で信頼される水道～

基本目標3：供給体制の持続性の確保「持続」
～いつまでも市民とともにある水道～

下水道 柏市下水道事業中長期経営計画

経営理念

下水道サービスを将来にわたり
安定的に提供する

基本方針

快適・環境：市民のみなさまの快適な生活を
支えるとともに、未来につなぐ豊かな水環境
の保全と環境に優しい循環型社会の推進に
貢献します。

安心：安全で安心できる暮らしを守ります。

持続：健全経営のもとで施設の機能を維持し
安定した事業経営の持続性を確保します。

3. 既存計画における 主要施策の 実施状況

【水道】 既存計画の施策体系

基本理念：『生命(いのち)の水を未来につなぐ柏の水道』

基本目標1:「強靱」

基本施策1:老朽施設・老朽管の更新

基本施策2:水道施設の耐震化

基本施策3:水道施設のレベルアップ

基本施策4:応急給水の確保

基本施策5:応急復旧体制の整備

具体事業の実施

基本目標2:「安全」

基本施策6:適切な水源保全の推進

基本施策7:水質管理体制の強化

基本施策8:小規模貯水槽水道の適正管理

具体事業の実施

基本目標3:「持続」

基本施策9:経営基盤の強化

基本施策10:効率的な組織体制への見直し

基本施策11:利用者サービスの充実

基本施策12:官民連携の推進

基本施策13:環境保全の推進

具体事業の実施

『将来像』の実現

【下水道】既存計画の施策体系

経営理念：下水サービスを将来にわたり安定的に提供する

基本方針：快適・環境

施策方針：污水対策

未普及地域の解消

施策方針：環境保全

手賀沼の汚濁負担軽減
(合流区域の分流化)
創エネルギー

基本方針：安心

施策方針：雨水(浸水)対策

ハードの整備
ソフトの整備

施策方針：地震対策

下水道総合地震計画対策
事業の推進
下水道BCPの改善・訓練の
継続

基本方針：持続

施策方針：老朽化対策

管きよの改修
下水道施設の改修

施策方針：経営健全化

経営計画の適正管理
経費の削減、使用料収入の
適正化
技術力の維持、新技術の活用

施策方針：市民との協働

広報の充実
環境教育の場づくり
指標による事業評価

評価方法について

評価	達成度合い	【定量的評価】 指標値の数値による評価	【定性的評価】 実施状況による評価
◎	目標を上回る	指標値が設定目標の125%以上	目標を達成し、計画を十分に上回る実績を上げている
○	目標どおり	指標値が設定目標の100%以上～125%未満	目標を達成し、計画どおりの実績を上げている
△ ⁺	目標にもう一步	指標値が設定目標の75%以上～100%未満	目標には達していないが、一定の実績を上げている
△ ⁻	目標に届かず	指標値が設定目標の50%以上～75%未満	目標を達成できず、計画や目標の見直しが必要
×	目標に大きく届かず	指標値が設定目標の50%未満	目標をほとんど達成できず、計画や目標の見直しが必要
—	未実施等		

【水道】基本目標 1 : 強靱 (1/2)

基本施策	具体事業名	指標	実施状況	分析
1. 老朽施設 老朽管の更新	1-01老朽管の更新	△ ⁺	△ ⁺	✓ 年度により未達の年はあるものの計画的に更新を実施 ✓ 未譲渡配水管解消は可能な限り所有者との調整を進めている
	1-02老朽設備の修繕・更新	△ ⁺	△ ⁺	✓ 年度により未達の年はあるものの計画的に更新を実施
2. 水道施設の耐震化	2-01管路の耐震化	○	△ ⁺	✓ 老朽管(塩化ビニル管)更新を優先したため、基幹管路の耐震化が遅れている
	2-02水源地施設の耐震化	○	○	✓ 目標どおり耐震化を実施
	2-03水道庁舎の耐震化及び防災拠点化	○	○	✓ 防災拠点も兼ねた上下水道局庁舎の建設は令和4年度に完了

【指標、実施状況】

◎:目標を上回る、○:目標どおり、△⁺:目標にもう一步、△⁻:目標に届いていない、×:目標に大きく届いていない、-:未実施等

【水道】基本目標 1 : 強靱 (2/2)

基本施策	具体事業名	指標	実施状況	分析
3. 水道施設のレベルアップ	3-01新設基幹管路の整備・拡充	○	○	✓ 計画に基づき実施
	3-02配水管洗浄作業の実施	△ ⁺	◎	✓ 計画に基づき実施
	3-03配水管網の拡充	○	◎	✓ 新設管(要望・道路整備分)を整備 ✓ 普及率は目標を達成
	3-04北部地域整備事業	△ ⁺	○	✓ 区画整理事業進捗にあわせて整備
4. 応急給水の確保	4-01応急給水設備の整備・充実	△ ⁺	○	✓ 計画どおりに緊急遮断弁の整備、耐震性貯水槽等の点検を実施
5. 応急復旧体制の整備	5-01危機管理体制の強化	○	◎	✓ 柏市上下水道局 災害・水質事故等対策指針の策定(見直しを毎年度実施) ✓ 訓練実施数、訓練参加者は目標を上回る ✓ 給水車を運転できる免許の取得支援
	5-02防災拠点の整備	○	◎	✓ 上下水道局庁舎への通信設備の整備は令和2年度に完了(令和6年度に衛星通信設備を配備)
	5-03防災備品の備蓄と資機材の確保	○	○	✓ 防災備品の見直しにより備蓄数が増加 ✓ 災害時に優先的に資機材の提供を受けるための契約を締結

【指標、実施状況】

◎:目標を上回る、○:目標どおり、△⁺:目標にもう一步、△⁻:目標に届いていない、×:目標に大きく届いていない、-:未実施等

【水道】基本目標２：安全

基本施策	具体事業名	指標	実施状況	分析
6. 適切な水源保全の推進	6-01水源井戸の適正な維持管理の実施	—	△ ⁺	✓ 年間1本程度の設備修繕を実施
	6-02地下水利用の適正化	×	—	✓ 第一水源地井戸掘り替えを施策としていたが方針変更により実施していない
7. 水質管理体制の強化	7-01水安全計画の策定	○	◎	✓ 水安全計画を策定し、毎年度情報更新を実施
	7-02水質監視の強化	○	○	✓ 連続自動水質監視装置を増設等計画どおり事業を実施
	7-03トリハロメタン低減化対策	◎	○	✓ 計画どおり整備を実施しており、水質も概ね目標を達成
8. 小規模貯水槽水道の適正管理	8-01小規模貯水槽水道の適正管理の推進	△ ⁻	○	✓ 年度により未達の年はあるものの、啓発文書の送付やホームページでの広報を通じて継続的に指導を実施することにより、適正管理に繋げている。

【指標、実施状況】

◎：目標を上回る、○：目標どおり、△⁺：目標にもう一步、△⁻：目標に届いていない、×：目標に大きく届いていない、—：未実施等

【水道】基本目標3：持続(1/2)

基本施策	具体事業名	指標	実施状況	分析
9. 経営基盤の強化	9-01業務の効率化の推進	○	○	✓ 民間委託拡大検討を行い、新庁舎設計プロポーザル等を実施
	9-02漏水防止対策の推進	◎	○	✓ 配水管の更新とあわせて鉛製給水管の更新と漏水調査(修繕)を実施
	9-03アセットマネジメントの実施	◎	△ ⁺	✓ 予定していた建設改良費の執行額を下回っているため、必要な事業が行われていない可能性がある
	9-04水道事業運営審議会の実施	△ ⁺	○	✓ 上下水道事業運営審議会を年3～4回実施
	9-05広域化への取組	△ ⁺	○	✓ 広域連携に関する検討会は令和2年度以降年1回以上実施
10. 効率的な組織体制への見直し	10-01効率的な組織体制の検討	○	○	✓ 上下水道事業の統合に伴い事務内容や人員配置について調整を実施
	10-02技術継承と人材育成の促進	○	○	✓ 人員配置の要望を継続して実施 ✓ 研修や再任用職員による技術継承方策を実施

【指標、実施状況】

◎：目標を上回る、○：目標どおり、△⁺：目標にもう一步、△⁻：目標に届いていない、×：目標に大きく届いていない、－：未実施等

【水道】基本目標3：持続(2/2)

基本施策	具体事業名	指標	実施状況	分析
11. 利用者サービスの充実	11-01広報・広聴手段の整備・充実	△ ⁻	○	✓ ホームページリニューアル、広報紙の発行、オリジナルキャラクター「カシミズくん」のPR、イベント開催(コロナ禍時は未開催)
	11-02口座振替の促進	△ ⁺	△ ⁺	✓ スマホ決済、WEB口座振替等を導入
12. 官民連携の推進	12-01民間委託形態の検討	—	○	✓ 維持管理業務の拡大を実施し、料金関連業務の拡大を検討
13. 環境保全の推進	13-01環境に配慮した水道事業運営	—	◎	✓ 上下水道局庁舎建設において、太陽光発電、LED照明等の省エネ機器を導入 ✓ エコカー導入、建設副産物再資源化を実施

【指標、実施状況】

◎:目標を上回る、○:目標どおり、△⁺:目標にもう一步、△⁻:目標に届いていない、×:目標に大きく届いていない、—:未実施等

【下水道】基本方針 1：快適・環境

施策方針	具体事業名	指標	実施状況	分析
污水対策	1 未普及地域の解消	Δ^+	Δ^+	✓ 合併浄化槽等処理を含めた污水处理人口普及率が95%を超え、国の補助金の活用が難しくなったため、整備の進捗に鈍化がみられる
環境の保全	2 手賀沼の汚濁負荷軽減(合流区域の分流化)	○	Δ^-	✓ 合流区域の下流で浸水被害が発生したことで、分流化と合わせた浸水対策についても検討を実施
	3 創エネルギー	×	Δ^-	✓ コロナ禍や再開発事業の進捗遅延により、視察・事例研究が進んでいない

【指標、実施状況】

◎：目標を上回る、○：目標どおり、 Δ^+ ：目標にもう一步、 Δ^- ：目標に届いていない、×：目標に大きく届いていない、－：未実施等

【下水道】基本方針２：安心

施策方針	具体事業名	指標	実施状況	分析
雨水(浸水)対策	4 ハードの整備	◎	◎	✓ 計画的な雨水管整備のほか、浸水被害が多発している地区での早急な雨水幹線整備を実施
地震対策	5 下水道総合地震対策計画事業の推進	○	△ ⁺	✓ 災害時用トイレの整備は計画通り実施しているが、物価上昇、入札不調等により耐震化工事に遅れがある
	6 下水道BCP訓練の実施	○	◎	✓ 千葉県BCP合同訓練への参加等を実施 ✓ BCPの改定(組織体制の修正、非常時対応や訓練・維持改善計画見直し)を実施

【指標、実施状況】

◎：目標を上回る、○：目標どおり、△⁺：目標にもう一步、△⁻：目標に届いていない、×：目標に大きく届いていない、－：未実施等

【下水道】基本方針３：持続(1/3)

施策方針	具体事業名	指標	実施状況	分析
老朽化対策	7 管きよの改修(ストックマネジメント計画の策定状況)	○	◎	✓ 包括的民間委託(第1期及び第2期)の実施結果を基に、ストックマネジメント計画を見直した。 ✓ 緊急性の高い管路改修やマンホールポンプ等の改修を実施(篠籠田貯留場の改築は詳細設計中)
	8 管きよの改修(老朽管調査率)	○	◎	✓ 老朽管調査(巡視点検、公共汚水桝点検、管路内目視調査、障害物除去等)を毎年度実施
	9 管きよの改修(管路改修)	×	○	✓ 緊急性の高い管路改修を実施
	10 下水道施設の改修	○	△ ⁺	✓ 緊急性の高いマンホールポンプ等の改修を実施

【指標、実施状況】

◎:目標を上回る、○:目標どおり、△⁺:目標にもう一步、△⁻:目標に届いていない、×:目標に大きく届いていない、-:未実施等

【下水道】基本方針3：持続(2/3)

施策方針	具体事業名	指標	実施状況	分析
経営の健全化	11 経営計画の適正管理 (経営計画(財政計画)の見直し)	○	○	✓ 事業の進捗確認及び使用料の改定必要性検討を計画に基づき実施
	12 経営計画の適正管理 (経常収支比率)	○	△ ⁺	✓ 経常収支比率は100%を上回っている
	13 経営計画の適正管理 (企業債元利償還金対料金収入比率)	○	△ ⁺	✓ 企業債元利償還金対料金収入比率は目標を達成
	14 経費の削減・使用料収入の適正化(経費回収率)	○	△ ⁺	✓ 経費回収率は100%を上回っている
	15 職員の技術力の向上、 新技術の導入	○	○	✓ 新技術の導入(浮遊式スクリーニング、管内水位観測システムの構築) ✓ 新技術の検討(腐食環境下施設における硫化水素連続測定、B-DASH事業を活用した雨天時浸入水調査)

【指標、実施状況】

◎:目標を上回る、○:目標どおり、△⁺:目標にもう一步、△⁻:目標に届いていない、×:目標に大きく届いていない、-:未実施等

【下水道】基本方針３：持続(3/3)

施策方針	具体事業名	指標	実施状況	分析
市民との協働	16 広報活動の実施回数	○	◎	✓ 広報紙の発行や下水道の日の啓発活動等を毎年度実施
環境教育の場づくり	17 工事見学会等の実施	○	◎	✓ 市内小学校等に下水道出前授業を年複数回実施(令和3年度には5回、令和4年度には10回、令和5年度には12回)
指標による事業評価	18 経営計画指標による事業評価	○	○	✓ 上下水道事業運営審議会にて、事業評価を毎年度実施

【指標、実施状況】

◎:目標を上回る、○:目標どおり、△⁺:目標にもう一步、△⁻:目標に届いていない、×:目標に大きく届いていない、-:未実施等

4. 課題の整理

【水道】基本目標 1 「強靱」 (1/2)

基本施策

- | | | |
|----------------------|----------------|-----------------------|
| 1.
老朽施設
老朽管の更新 | 2.
水道施設の耐震化 | 3.
水道施設の
レベルアップ |
|----------------------|----------------|-----------------------|

📋 実施状況(まとめ)

- ✓ 老朽施設老朽管の更新、水道施設の耐震化を計画的に実施



➡ 課題と対応の方向性

課題 老朽管(塩化ビニル管)更新を優先したため、基幹管路の耐震化が遅れている

方向性 老朽施設老朽管の更新、水道施設の耐震化を推進するための方策検討が必要

【水道】基本目標 1 「強靱」 (2/2)

基本施策

4.
応急給水の確保

5.
応急復旧
体制の整備

📋 実施状況(まとめ)

- ✓ 水道施設の拡充や応急給水・復旧体制整備を実施



➡ 課題と対応の方向性

方向性

応急復旧体制の整備を継続しつつ、上下水道耐震化計画に基づく重要施設の確実な耐震化の実施が必要(上下水道耐震化計画を令和7年1月に策定済み)

【水道】基本目標2「安全」

基本施策

6.
適切な水源保全
の推進

7.
水質管理体制の
強化

8.
小規模貯水槽水
道の適正管理

📋 実施状況(まとめ)

- ✓ 適切な水源保全の推進、水質管理体制の強化、小規模貯水槽水道の適正管理を実施



➡ 課題と対応の方向性

方向性 水質管理、水源井戸の維持管理の継続

課題 新たな水質課題(PFAS等)

方向性 水質検査計画・水安全計画を運用しながら新たな水質課題に応じた検査頻度・検査体制を構築

【水道】基本目標3「持続」 (1/2)

基本施策

9.
経営基盤の強化

10.
効率的な組織体制
への見直し

11.
利用者サービスの
充実

実施状況(まとめ)

- ✓ 経営基盤強化、上下水道組織統合による組織体制見直しに取り組み健全経営を維持

- ✓ 利用者サービス、広報等の充実への取組
- ✓ 工事見学会・上下水道事業運営審議会開催



課題と対応の方向性

課題

経営環境は今後厳しくなる見通し

方向性

効率的な組織体制検討や民間活力活用等検討、管理指標の効率化、適正な料金・使用料の検討

方向性

広報や見学会等の取組の継続

【水道】基本目標 3 「持続」 (2/2)

基本施策

12. 官民連携の推進

13. 環境保全の推進

実施状況(まとめ)

✓ 官民連携の推進検討

✓ 環境保全の推進を実施

➡ 課題と対応の方向性

課題 官民連携推進の検討するとともに、委託業務を管理、評価できるように職員を育成していく必要がある。

方向性 官民連携を推進するための方策とともに、人材育成の在り方を検討

方向性 省エネ機器導入・資源再利用を継続

【下水道】基本方針 1 「快適・環境」

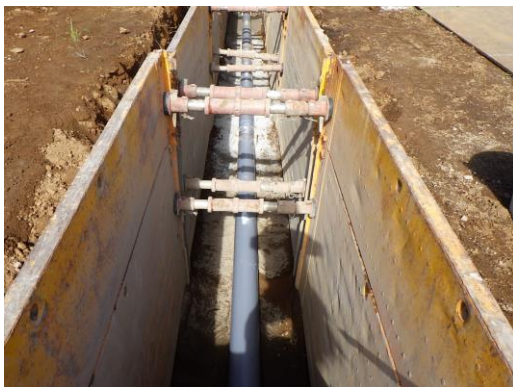
施策方針

污水対策

環境の保全

実施状況(まとめ)

- ✓ 污水対策(未普及地域の解消)の実施



- ✓ 環境保全対策への取り組み

課題と対応の方向性

課題 計画達成が近づき進捗が鈍化している

方向性 現状を踏まえた污水対策の目標設定

課題 社会情勢等により実施まで至っていない

方向性 現状を踏まえた目標の設定

【下水道】基本方針 2 「安心」

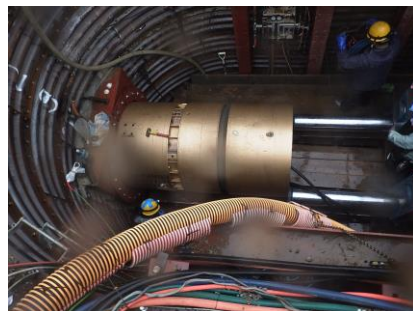
施策方針

雨水(浸水)対策

地震対策

📋 実施状況(まとめ)

✓ 雨水(浸水)対策を実施



✓ 地震対策を実施



➡ 課題と対応の方向性

課題 降雨強度が高まっている

方向性 より効果的な浸水対策の検討が求められている

課題 重要な管路を優先した地震対策が求められている

方向性 「柏市下水道地震対策総合計画」に基づいた整備を進めるとともに、上下水道一体の効果的な対策を進める

【下水道】基本方針3「持続」 (1/2)

施策方針

老朽化対策

📋 実施状況(まとめ)

✓ 包括的民間委託を活用し老朽化対策実施



➡ 課題と対応の方向性

課題 篠籠田貯留場の改築は詳細設計中

方向性 改築の実施

課題 劣化管路の老朽化が課題

方向性 劣化管路の抽出と調査、修繕改築の実施

【下水道】基本方針 3 「持続」 (2/2)

施策方針

経営の健全化	市民との協働	環境教育の場づくり	指標による事業評価
--------	--------	-----------	-----------



実施状況(まとめ)

- ✓ 経営基盤強化、上下水道組織統合による組織体制見直しに取り組み健全経営を維持

- ✓ 利用者サービス、広報等の充実への取組
- ✓ 工事見学会・上下水道事業運営審議会開催

- ✓ 指標による事業評価の実施

➡ 課題と対応の方向性

課題

経営環境は今後厳しくなる見通し

方向性

効率的な組織体制検討や民間活力活用等検討、管理指標の効率化、適正な料金・使用料の検討

方向性

広報や見学会等の取組の継続

課題

指標がわかりにくいとの指摘がある

方向性

評価指標の改善

5. 今後の検討の 進め方

上下水道でまとめた計画策定の方針

(従来) 上下水道それぞれの基本理念

水道 : 安全、強靱、持続

下水道 : 快適・環境、安全、持続

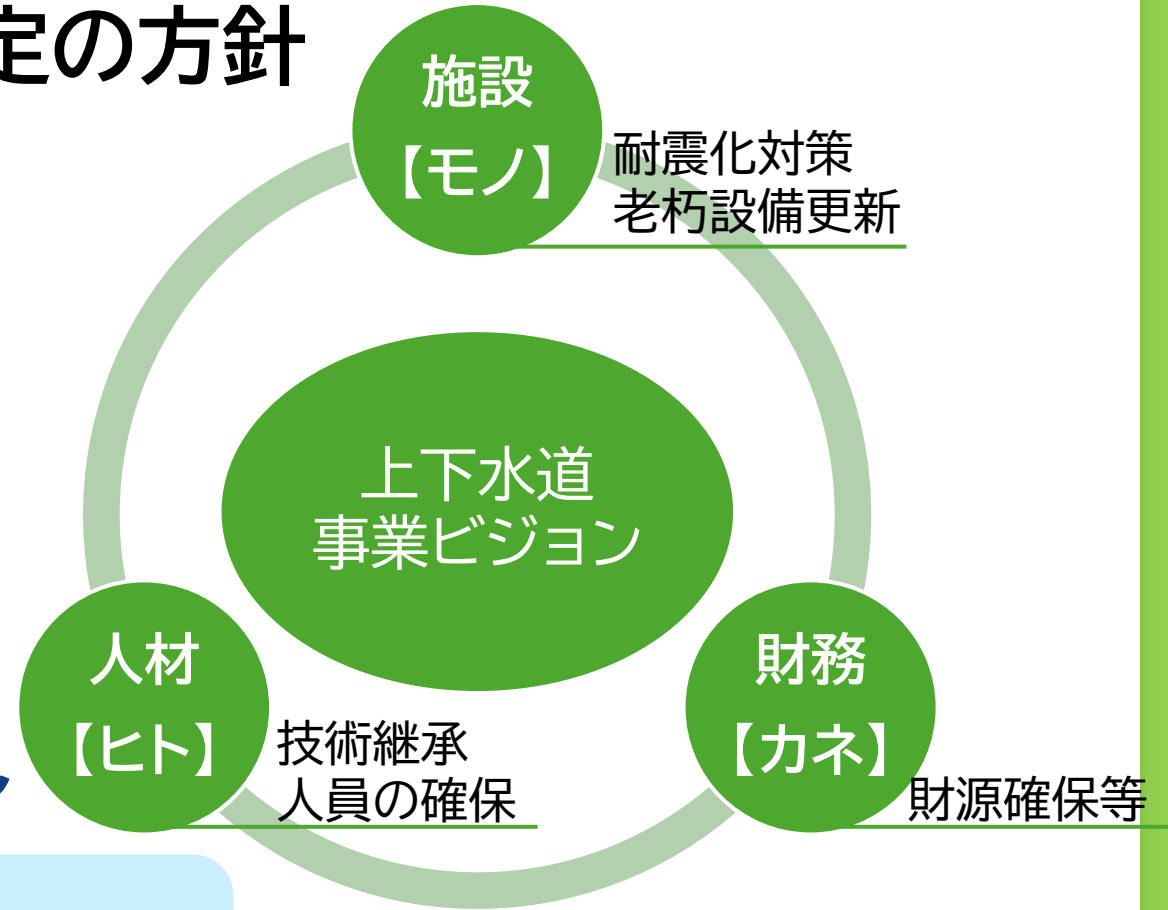


(本計画)

上下水道一体を考慮した基本理念の提案

～強靱な水インフラを未来へ～

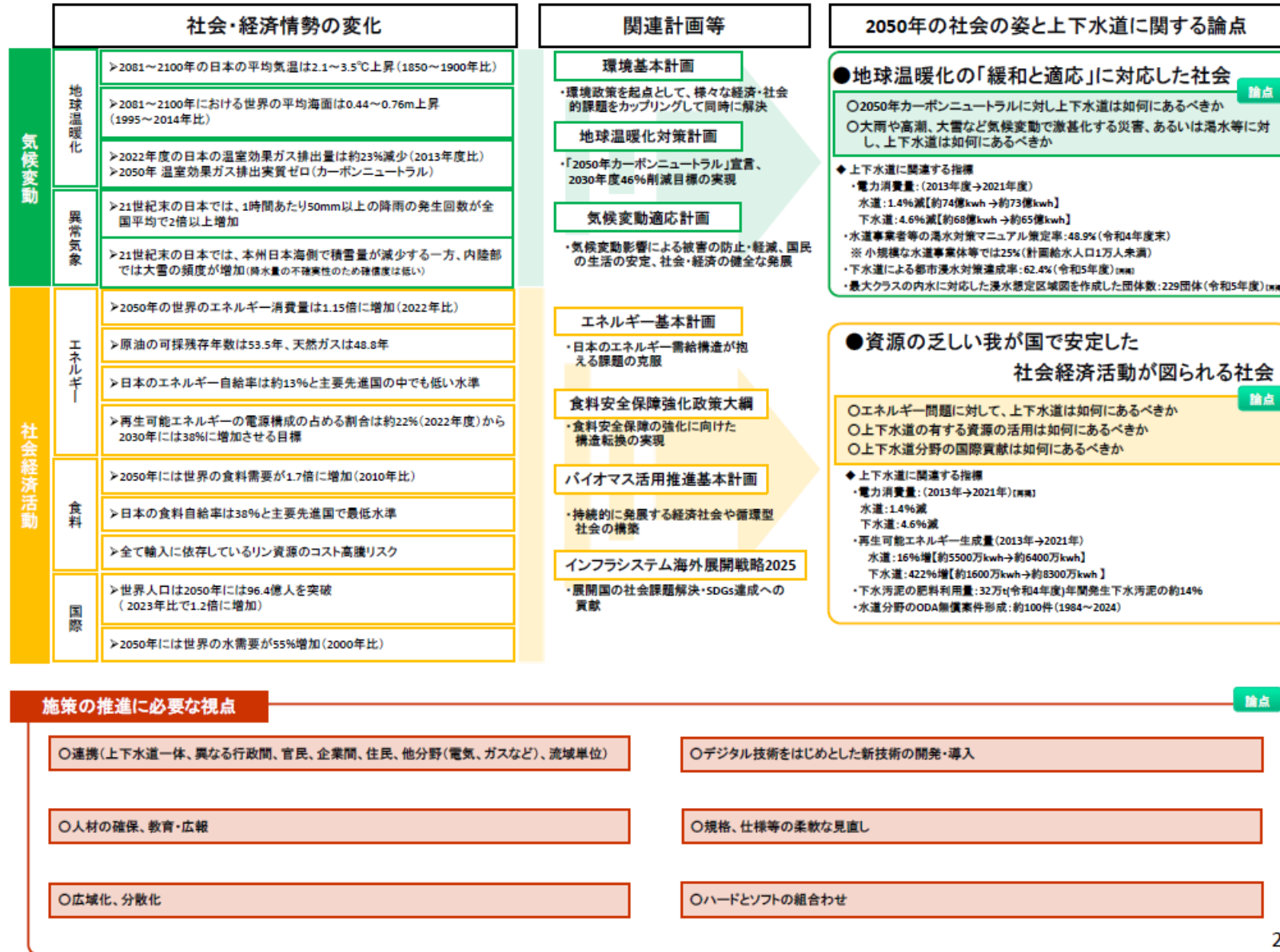
- 人材マネジメント: 実施体制の方向性
- 施設マネジメント: 施設整備と維持管理の方向性
- 財務マネジメント: 事業環境に対応した経営の方向性



国が示す2050年の社会の今後の上下水道に関する論点(1/2)

	社会・経済情勢の変化	関連計画等	2050年の社会の姿と上下水道に関する論点
持続	人口減少・高齢化 - 日本の総人口は2050年には約17%減(2024年比) - 全市町村の約3割が人口半数未満へ - 高齢化率は29.1%(2020年)から2050年には37%に上昇 - 出生率は2.3(ピーク時)から2018年には1.35へ減少 - 生産年齢人口は7,509万人(2020年)から2050年には5,540万へ減少	国土形成計画 列島を支える新たな地域マネジメントの構築	●安心で持続的な発展、成長が図られる社会 ○将来的な経済成長に対して、上下水道はどのような役割を担うべきか ○担い手が不足する中、如何に水道・下水道事業を運営すべきか ○水道料金、下水道使用料は如何にあるべきか ○持続的にサービスを提供するため、利用者との関係は如何にあるべきか
	産業競争力・経済成長 - 日本のGDPは2050年には1.3倍の予想も(2000年比) - 上下水道に関連する産業区分別就業人口は減少の見込み(電気・ガス・水道等17%減、公務55%減(2022年比2040年値)) - 通信ネットワークの速度は1980年からの30年で10万倍 - AIなど新技術の高度な実装によりこれまでにない価値や産業が創出	新地方創生本部 「地方こそ成長の主役」との発想に基づき、地方がそれぞれの特性に応じた発展を目指す	◆上下水道に関連する指標 - 普及率:水道98.3%(令和3年度末)、下水道81.4%(汚水93.3%)(令和5年度末) - 事業数:水道3,764(令和4年度末)、下水道1,476(令和3年度末) - 職員数:水道37%減(昭和55年→令和2年)、下水道43%減(平成9年→令和2年) ※小規模な事業体では水道3人(簡易水道)、下水道2人(行政人口1万人未満) - 料金・使用料回収率(平均):水道98.4%(令和4年度)、下水道96.4%(令和4年度) ※水道58.6%(簡易水道)、下水道56.8%(行政人口1万人未満) - PPP/PFIを実施している割合:水道18.7%(令和4年度末)、下水道20.2%(令和5年度) - 管路情報の電子化:水道95%(一部紙を含む)、下水道78%(施設情報のみは50%) ※水道・下水道とも小規模団体ほど整備率低い
	財政力等 - 国の公債残高1105兆、地方の借入残高は180兆(R6年度末) - 社会保障関係費は2018年度と比較して2040年度には約1.6倍に増大 - 国の公共事業関係の当初予算は平成14年度以降約6兆円で横ばい - 水道水源の認知度が約7%低下(令和2年比令和6年値)	経済安全保障に関する産業・技術基盤強化アクションプラン 経済安保推進法の着実な実施、不断の見直し	
		経済財政運営と改革の基本方針 国民が豊かさと幸せを実感できる持続可能な経済社会の実現	
強靱化		PPP/PFI推進アクションプラン 社会的課題を解決、成長型経済をけん引する手段として、PPP/PFIを積極的に推進	●強靱で安全、災害やリスクに強い社会 ○多発・激甚化する災害に対して、上下水道サービスは如何にあるべきか ○施設の老朽化、あるいは増加するサイバー攻撃等のリスクに対して、上下水道の目指す方向性は如何にあるべきか
	災害リスク - 南海トラフ巨大地震、首都直下地震の30年以内発生確率はいずれも70%程度 - 気候変動の進行により、自然災害が増加する可能性(20世紀と比較して21世紀には豪雨の頻度が約3倍) - 災害リスク地域に居住する人口は、2050年には全体の約7割	国土強靱化基本計画 大規模自然災害から国民の生命等を守り、社会機能を維持するために防災・減災、国土強靱化を推進	◆上下水道に関連する指標 - 水道の耐震化率 - 基幹管路:約42%、浄水場:約43%、配水池:約64%(令和4年度末) - 下水道の耐震化率 - 主要な管渠:約56%、処理場:約40%、ポンプ場:約38%(令和4年度末) - 水道・下水道管路の両方が耐震化されている重要施設の割合:約15%(令和5年度) - 下水道による都市浸水対策達成率:62.4%(令和5年度) - 布設後40年経過した水道管:約22%(令和3年度末) 50年経過した下水道管:約7%(令和4年度末) - 最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図を作成した団体数:229団体(令和5年度末) - 電子計算機へのアクセス管理及び外部記憶媒体からの感染防止対策の実施割合:47%
	老朽化 社会資本の老朽化(2040年に建設後50年以上経過する施設の割合:道路橋:約75%、河川管理施設:約65%、水道管:約41%、下水道管:約34%)	サイバーセキュリティ戦略 国民が安全で安心して暮らせるデジタル社会の実現	●水による恩恵の最大化、リスクの最小化が図られた社会 ○水の恩恵を最大限生かすため上下水道は如何にあるべきか ○大雨や漏水に対して上下水道は如何にあるべきか ○地域ごとの水環境は如何にあるべきか ○流域関係者との連携は如何にあるべきか
	サイバーセキュリティ 2023年のサイバー攻撃件数は2015年比で約10倍に増加		◆上下水道に関連する指標 - 水道水質基準項目数:26項目(昭和41年)→51項目 - 水道における臭気被害人口:約2160万人(平成2年度)→約360万人(令和4年度) - 下水道の高度処理実施率:約65.7%(令和4年度末) - 能動的運転管理を実施・試行している自治体数:41都市(令和5年度末)
水質・水循環	水質 河川の水質環境基準達成率は93%、湖沼は54%	水循環基本計画 水循環に関する施策の総合的かつ計画的な推進	
	水資源・生物多様性 21世紀末の日本では、無降水日が全国平均で8.2日増加 1970年から2020年で「生きている地球指数(LPI)」は73%減少 2030年 ネイチャーポジティブ	生物多様性国家戦略 人間の安全保障の根幹である生物多様性・自然資本を守り活用	

国が示す2050年の社会の今後の上下水道に関する論点(2/2)



国が示す上下水道一体での方向性

情勢の変化を踏まえた方向性案

水道整備・管理行政の移管

- 令和6年度より、水道整備・管理行政の一部が国土交通省に移管。
- 人口減少やインフラの老朽化が進む中で、災害に強く、持続可能な上下水道の機能を確保するため、上下水道一体の取組が必要。

令和6年能登半島地震の発生

- 令和6年能登半島地震では、水インフラが甚大な被害。
- 生活用水の確保が課題。
- 被災地では地下水や雨水が活用されるなど、代替水源の重要性を再認識。

気候変動の影響の顕在化等

- 気候変動の影響が顕在化しており、二酸化炭素排出量削減が急務であり、水力エネルギーの利活用が重要。
- 人口減少やライフスタイルの変化等で、水需給バランスが変化。

施策の方向性

- 上下水道一体として、補助制度を活用しつつ、広域化・ウォーターPPPをはじめとした官民連携やDX導入等による事業の効率化・高度化・基盤強化の取組を推進。

施策の方向性

- 水インフラの耐震化の推進。
- 早期復旧を可能とする上下水道一体となった災害復旧手法の構築。
- 代替水源の有効活用など、災害に強い水インフラ整備を推進。

施策の方向性

- 流域におけるカーボンニュートラルの推進。
- 既存インフラを最大限活用のもと、流域の様々な関係者による総合的な水管理を実現し、水力発電を最大化。

**全省庁で水循環施策の方向性について共通認識をもち、
施策を推進することが重要**

6. 今後の スケジュール

ビジョン改定作業の全体像(スケジュール)

審議会	時期(予定)	テーマ
第1回	令和6年12月23日	計画の全体像と既計画の実施状況について
第2回	令和7年3月	【諮問】 既存計画の評価と課題
第3回	令和7年6月	将来見通し及び理想像・目標の設定 (その1)
第4回	令和7年7月	将来見通し及び理想像・目標の設定 (その2)
第5回	令和7年8月	実現方策及び推進体制の検討 (その1)
第6回	令和7年9月	実現方策及び推進体制の検討 (その2)
第7回	令和7年12月	上下水道事業ビジョン素案の提示と検討
★	令和8年1月	パブリックコメントの実施
第8回	令和8年2月	【答申】